

2021年度 講師派遣活動記録

整理番号: 20211112

事業名	環境教育およびエコロジカルライフを実践するための講座開催事業
------------	--------------------------------

活動名	ごみ減量啓発講座
------------	----------

担当者	高根 美保
------------	-------

主催団体	NPO法人エコライフはままつ
-------------	----------------

事業区分	講師派遣
-------------	------

事業サイクル	継続事業
---------------	------

活動の目的	環境行動の実践者を増やす（家庭ごみの減量）
--------------	-----------------------

実施内容	
-------------	--

活動日時	2021年11月12日(金)10:00~11:15
-------------	---------------------------

活動場所	小山会館（西区雄踏町宇布見47501）
-------------	---------------------

活動者名	高根美保
-------------	------

詳細	◎私たちの生活ごみを減らす工夫 (1)浜松市のごみの現状 (2)SDGsの取組みから家庭ごみ減量 ・雑がみをリサイクルしてごみ減量 ・環境マークと紙容器リサイクル事業 ・食品ロスを減らしてごみ減量 (3)海洋プラスチックごみ問題 ・使用済ハブラシリサイクル事業
-----------	--

事業の成果	参加者: 33名 配布物 食品ロス削減メモ帳 36冊 ごみ減量啓発ウエットティッシュ 36個 浜松市指定ごみ袋 10ℓ 36枚 参加者が用意したリサイクル品 雑がみ 約3.10kg 紙容器カップ 約0.55kg 牛乳パック 約0.5kg ・SDGsの説明とごみ減量行動 3Rから開発目標を説明。 ・家庭ごみが税金を使って処理されていることや毎月の各区のごみ量を説明。ごみは市民の協力で減らすことができることを説明。 ・家庭のごみ箱の中身を本当にもやさしくないごみかどうかを考える。一つのゲームと考えリーダーを決めて、どのくらいのごみが減ったのかを体重測定と同様に意識する。生ごみ・紙類のごみを減らす方法を説明。 ・実証実験で「紙容器カップ」のリサイクルの説明とモニター家族の生活意識の変化を紹介。 ・食品ロス削減では、冷蔵庫内の現状を確認後「見える化」する利用方法や買い物時の工夫を説明。 ・捨てられているごみの行方から使い捨てのプラスチック問題を説明。使用済ハブラシリサイクル事業を説明。 まとめ 参加者のリサイクル行動を小山ふれあいサロンの運営者が後押ししてくれます。
--------------	---

事業の課題	ごみを分別してリサイクルに回す行動を実践した場合、回収場所に出す方法が難しい。この現状改善が必要である。
--------------	--

記録添付

